

教科(科目)	家庭科(家庭基礎)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	実教出版 『図説 家庭基礎』				
副教材等	実教出版 『生活学 Navi』				

1. グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。 ②生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。 ③国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。
○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。 ②工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。 ③将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2. 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3. 指導の重点

・家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。 ・生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける
--

4. 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するとともに、課題を解決するために実践しようとしている。

5. 評価方法

評価方法	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み ・課題の提出状況と提出物の内容 ・小テストならびに定期テスト などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み ・課題の提出状況と提出物の内容 ・小テストならびに定期テスト などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み ・課題の提出状況と提出物の内容 ・小テストならびに定期テスト などから、総合的に評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6. 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	ガイダンス 第1章 自分らしい生き方と家族	・自分らしい生き方と家族	・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意味と進め方について理解する。 ・ライフステージの特徴について確認し、現代の家族の特徴・機能を理解した上でライフプランの立案をする。	8	授業の取組
5 6	第6章 衣生活を作る	・衣生活を作る	・被服の歴史、被服材料の種類・特徴について確認する。 ・環境問題と被服の手入れの方法を理解する。 ・被服製作を通じて、基礎的な技能が身につくようにする。	13	定期テスト 授業の取組
7	第2章 子どもとかわる	・子どもとかわる	・人間の発達と乳幼児の身体の特徴や生活について理解する。 ・折り紙作品作成を通じて遊びの重要性について学ぶ。 ・ホームプロジェクトの課題を考え、計画を立てる。	10	定期テスト 授業の取組
9 10	第5章 食生活を作る	・食生活を作る	・栄養素の働きとバランスのよい食事について考えを深める。 ・食品の特徴を知り、適切な摂取方法を理解する。 ・食事の役割について理解し、自身の食生活を見つめ、改善できるようにする ・調理実習を通して実生活に役立つ技術を身につける。	14	定期テスト 授業の取組
11 12	第3章 高齢者とかわる 第4章 社会とかわる 第7章 住生活をつくる	・経済的に自立する ・消費行動を考える	高齢者の心身の特徴を通して、福祉環境を理解する。 ・住居の歴史・特徴を学び、将来のライフスタイルにあった住居を考え、計画する。	14	定期テスト 授業の取組
1 2 3	第8章 経済的に自立する 第9章 消費行動を考える	・経済的に自立する ・消費行動を考える	・現代の消費者問題について理解し、消費者として環境や将来を見据えた適切な行動ができるよう考えを深める。	11	定期テスト 授業の取組

計 70 時間 (50 分授業)

7. 課題・提出物等

- ・单元ごとに理解力確認のための小テストを行う。
- ・各单元の基本となる技術に関する課題を与えて、提出させる。

8. 担当者からの一言

生活に活かせる知識と技能を身に付けることを目標とします。
「自立」を年間のテーマとして学習していきます。